

経営比較分析表（令和元年度決算）

熊本県 南関町

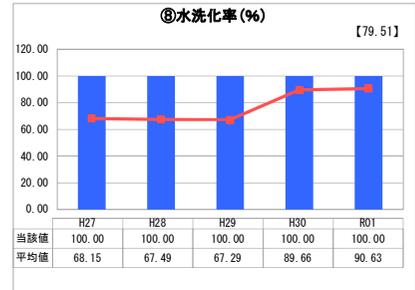
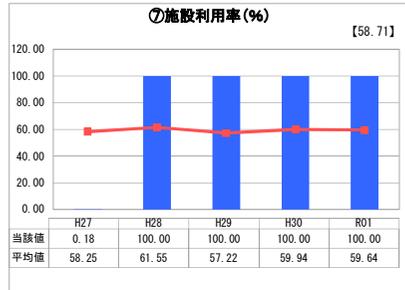
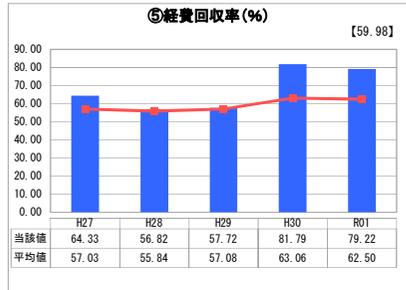
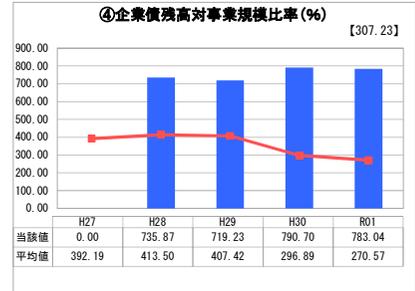
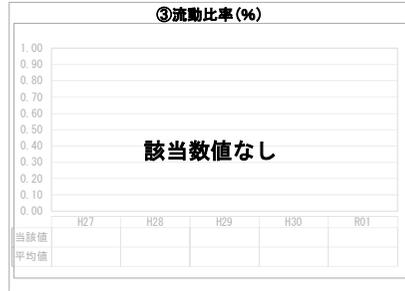
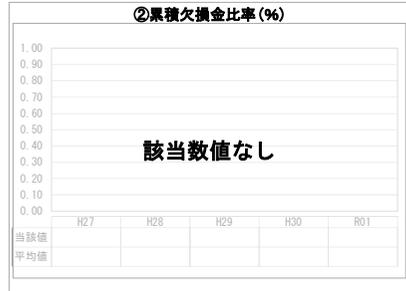
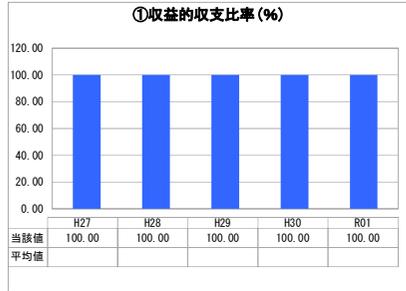
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	21.34	100.00	3,360

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,633	68.92	139.77
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,044	67.78	30.16

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

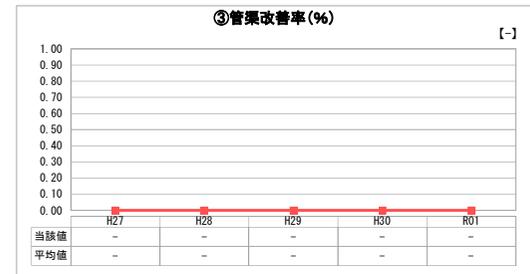
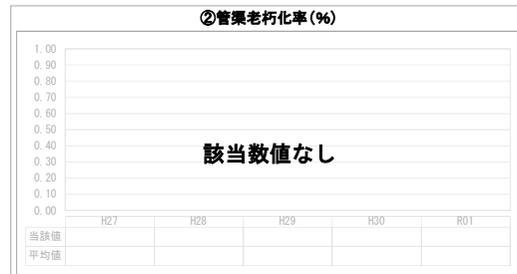
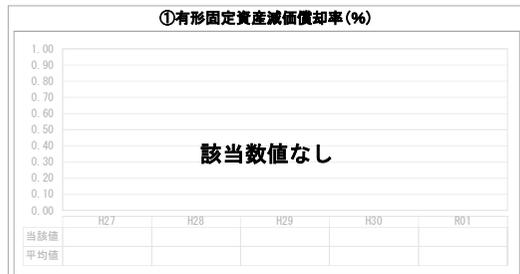
⑤経費回収率は、類似団体平均より上回っているが、100%を下回っており、老朽化による維持管理費の増額が懸念されることから、料金改定等が必要と考える。⑤経費回収率が昨年より増えているが、公費負担（分流式下水道に要する経費）により経費が抑えられているためである。④企業債残高対事業規模比率が類似団体、全国平均と比べて多いのは、平成15年から市町村設置型浄化槽工事を開始し、その工事費分が④企業債残高対事業規模比率を引き上げている。また設置基数が多くなることにより維持管理費の増加となる。

(今後の対策)
維持管理費等の見直しや料金改定等

2. 老朽化の状況について

老朽化については、保守点検業務を毎月行っており、状態監視を行う。

2. 老朽化の状況



全体総括

浄化槽整備については、年間設置基数40基を目標とし、水洗化人口の普及率向上を図り、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を目指す。
今後の経営については、R2年度に経営戦略を策定することとしており、この計画に基づき、維持管理の見直しや料金改定等を検討することにより健全な経営を目指し、安全で安定した事業の継続に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。